

2025年 8 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕（連結）



2025年 7 月11日

上 場 会 社 名 株式会社ジンズホールディングス 上場取引所 東
コ ー ド 番 号 3046 URL https://jinsholdings.com
代 表 者 （役職名） 代表取締役CEO （氏名） 田 中 仁
問合せ先責任者 （役職名） 常務執行役員CFO （氏名） 中 谷 元明 （TEL） 03-6890-4800
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年 8 月期第 3 四半期の連結業績（2024年 9 月 1 日～2025年 5 月31日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年 8 月期第 3 四半期	69,815	18.0	8,892	75.7	8,893	73.9	6,285	98.0
2024年 8 月期第 3 四半期	59,163	10.5	5,060	37.5	5,115	42.6	3,173	47.5

（注）包括利益 2025年 8 月期第 3 四半期 5,997百万円（ 89.2％） 2024年 8 月期第 3 四半期 3,170百万円（ 66.7％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年 8 月期第 3 四半期	269.29	—
2024年 8 月期第 3 四半期	135.99	129.72

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2025年 8 月期第 3 四半期	53,210	29,443	55.3
2024年 8 月期	54,045	25,593	47.4

（参考）自己資本 2025年 8 月期第 3 四半期 29,443百万円 2024年 8 月期 25,593百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年 8 月期	—	20.00	—	41.00	61.00
2025年 8 月期	—	50.00	—		
2025年 8 月期（予想）				44.00	94.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年 8 月期の連結業績予想（2024年 9 月 1 日～2025年 8 月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	92,532	11.5	10,805	37.9	10,771	39.2	7,205	54.2	308.69

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 - ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年8月期3Q	23,980,000株	2024年8月期	23,980,000株
② 期末自己株式数	2025年8月期3Q	638,379株	2024年8月期	640,064株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年8月期3Q	23,340,875株	2024年8月期3Q	23,340,084株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定にあたり控除する自己株式数には、「株式給付信託（J-ESOP）」の信託財産として株式会社日本カストディ銀行（信託E口）が保有する当社株式を含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理性があると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2024年9月1日～2025年5月31日)における国内経済は、物価上昇の継続や、為替、金利を始めとした金融資本市場の変動等の経済への影響には十分注意が必要ではあるものの、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の拡大などにより景気の緩やかな回復がみられ、国内眼鏡小売市場(視力矯正眼鏡)も緩やかに拡大しております。世界経済においては、物価上昇や金融資本市場の変動等による景気への影響が継続する中、中国経済の先行懸念や、米国新政権の様々な政策動向等を受け、更なる景気の下振れリスクの高まりが懸念されております。

このような市場環境の中、当社グループのアイウェア事業では、経営課題として掲げるイノベティブなプロダクト開発の強化と店舗展開の推進に努めてまいりました。プロダクト開発においては、お客様のニーズや利用シーンに応じた商品開発を継続し、新商品の発売等を通して新たな価値の提供に努めました。店舗戦略については、市場環境に応じてお客様の利便性を考慮した立地への出店を推進し、国内では小型のショッピングモールや駅ビルを中心に展開しました。海外では、未出店地域への進出を進める一方で、地域ごとの市場環境や競合状況に合わせ、不採算店舗の閉鎖やドミナント展開を進めました。

店舗展開につきましては、当第3四半期連結会計期間末における店舗数は、国内530店舗、海外248店舗(中国159店舗、台湾75店舗、香港9店舗、米国5店舗)の合計778店舗となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は、主に国内アイウェア事業の既存店売上高の増加により69,815百万円(前年同期比18.0%増)となりました。営業利益は8,892百万円(前年同期比75.7%増)、経常利益は8,893百万円(前年同期比73.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は6,285百万円(前年同期比98.0%増)となり、増収増益となりました。

セグメント業績の概要は、次のとおりであります。

セグメント別の売上高

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)	構成比	前年同期比増減
国内アイウェア事業	54,276百万円	77.7%	20.2%
海外アイウェア事業	15,538百万円	22.3%	10.9%
合計	69,815百万円	100.0%	18.0%

〈国内アイウェア事業〉

国内アイウェア事業につきましては、継続的な販促キャンペーン活動により、レンズ・フレームともに高単価の商品が好調に推移したことに加え、インバウンド需要の取り込みや季節性商品が売上を牽引しました。

店舗展開につきましては、国内店舗数は530店舗(出店38店舗、退店3店舗)となりました。

以上の結果、国内アイウェア事業の業績は、売上高54,276百万円(前年同期比20.2%増)、営業利益8,057百万円(前年同期比70.7%増)となりました。

〈海外アイウェア事業〉

海外アイウェア事業につきましては、中国においては、事業構造改革の取り組みが進み、業績は順調に回復しております。

台湾においては、業績が引き続き順調に推移している中、都心だけではなく地方への出店を加速しております。

香港においては、景気の低迷や為替の影響による中国や日本へのアウトバウンドの増加等があり、業績は想定よりも下回りました。

米国においては、新たな顧客体験型店舗を出店し、売上高は拡大している一方、先行投資の影響等により、業績は想定よりも下回りました。

店舗展開につきましては、中国159店舗(出店9店舗、退店17店舗)、台湾75店舗(出店14店舗、退店なし)、香港9店舗(出店なし、退店なし)、米国5店舗(出店1店舗、退店なし)の合計248店舗となりました。

以上の結果、海外アイウェア事業の業績は、売上高15,538百万円(前年同期比10.9%増)、営業利益835百万円(前年同期比145.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の資産、負債及び純資産の状況は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

	2024年8月期末 (2024年8月31日)	当第3四半期連結 会計期間末 (2025年5月31日)	増減	増減率(%)
総資産	54,045	53,210	△834	△1.5
負債	28,451	23,766	△4,684	△16.5
純資産	25,593	29,443	3,849	15.0

(イ) 資産

流動資産は、26,431百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,822百万円減少いたしました。

これは主に、商品及び製品が1,981百万円、売掛金が480百万円増加したものの、転換社債型新株予約権付社債の償還等により、現金及び預金が8,748百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、26,778百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,987百万円増加いたしました。

これは主に、新規出店等に伴い、建物及び構築物等の有形固定資産が1,423百万円、敷金及び保証金等の投資その他の資産が2,063百万円増加したことによるものであります。

以上により、総資産は、53,210百万円となり、前連結会計年度末に比べ834百万円減少いたしました。

(ロ) 負債

流動負債は、19,952百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,711百万円減少いたしました。

これは主に、短期借入金が3,466百万円、買掛金が1,100百万円増加したものの、転換社債型新株予約権付社債が償還され、10,005百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、3,814百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,026百万円増加いたしました。

これは主に、長期未払金が976百万円、資産除去債務が102百万円増加したことによるものであります。

以上により、負債合計は、23,766百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,684百万円減少いたしました。

(ハ) 純資産

株主資本は、29,318百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,137百万円増加いたしました。

これは主に、配当金の支払いにより2,151百万円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益6,285百万円を計上したことによるものであります。

その他の包括利益累計額は、125百万円となり、前連結会計年度末に比べ287百万円減少いたしました。

これは主に、為替換算調整勘定が281百万円減少したことによるものであります。

以上により、純資産合計は、29,443百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,849百万円増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年8月期通期業績予想につきましては、2025年4月11日に発表いたしました業績予想から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,673	9,925
売掛金	6,572	7,052
商品及び製品	4,639	6,621
仕掛品	43	24
原材料及び貯蔵品	424	554
その他	1,900	2,254
流動資産合計	32,254	26,431
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,461	10,691
その他（純額）	1,672	1,866
有形固定資産合計	11,133	12,557
無形固定資産	2,538	4,038
投資その他の資産		
敷金及び保証金	4,392	5,963
その他	3,726	4,219
投資その他の資産合計	8,119	10,183
固定資産合計	21,791	26,778
資産合計	54,045	53,210

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,747	3,848
1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債	10,005	—
短期借入金	1,909	5,375
1年内返済予定の長期借入金	20	8
未払金及び未払費用	6,211	6,584
未払法人税等	2,051	1,643
賞与引当金	429	504
商品保証引当金	250	275
事業構造改革費用引当金	66	33
その他	1,971	1,678
流動負債合計	25,663	19,952
固定負債		
長期借入金	24	18
株式給付引当金	70	62
資産除去債務	1,166	1,269
その他	1,525	2,463
固定負債合計	2,787	3,814
負債合計	28,451	23,766
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,202	3,202
資本剰余金	3,201	3,201
利益剰余金	22,818	26,952
自己株式	△4,041	△4,037
株主資本合計	25,180	29,318
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	77	70
為替換算調整勘定	335	54
その他の包括利益累計額合計	413	125
純資産合計	25,593	29,443
負債純資産合計	54,045	53,210

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)
売上高	59,163	69,815
売上原価	12,961	14,977
売上総利益	46,202	54,837
販売費及び一般管理費	41,142	45,945
営業利益	5,060	8,892
営業外収益		
受取利息	12	15
為替差益	90	50
補助金収入	32	32
その他	44	34
営業外収益合計	179	133
営業外費用		
支払利息	95	113
持分法による投資損失	18	—
その他	10	18
営業外費用合計	124	132
経常利益	5,115	8,893
特別利益		
投資有価証券売却益	—	442
特別利益合計	—	442
特別損失		
固定資産除却損	100	207
店舗閉鎖損失	17	6
投資有価証券評価損	28	—
減損損失	—	11
特別損失合計	146	224
税金等調整前四半期純利益	4,968	9,111
法人税、住民税及び事業税	1,545	2,779
法人税等調整額	249	46
法人税等合計	1,794	2,826
四半期純利益	3,173	6,285
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,173	6,285

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)
四半期純利益	3,173	6,285
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△26	△6
為替換算調整勘定	126	△281
持分法適用会社に対する持分相当額	△103	—
その他の包括利益合計	△3	△287
四半期包括利益	3,170	5,997
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,170	5,997
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過期的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過期的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前第3四半期連結累計期間(自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	国内 アイウェア 事業	海外 アイウェア 事業	計		
売上高					
顧客との契約から生 じる収益	45,152	14,011	59,163	—	59,163
外部顧客への売上高	45,152	14,011	59,163	—	59,163
セグメント間の内部 売上高又は振替高	620	11	632	△632	—
計	45,772	14,023	59,796	△632	59,163
セグメント利益	4,720	339	5,060	—	5,060

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ. 当第3四半期連結累計期間(自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	国内 アイウェア 事業	海外 アイウェア 事業	計		
売上高					
顧客との契約から生 じる収益	54,276	15,538	69,815	—	69,815
外部顧客への売上高	54,276	15,538	69,815	—	69,815
セグメント間の内部 売上高又は振替高	909	74	983	△983	—
計	55,186	15,613	70,799	△983	69,815
セグメント利益	8,057	835	8,892	—	8,892

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)
減価償却費	2,139百万円	2,159百万円